

# JASMA 会報

2021年7月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

## CONTENTS

第52回定時総会及び第166回理事会開催	1
新旧会長ご挨拶	3
第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集中	4
お知らせ	4

### 第52回定時総会及び第166回理事会開催

〔2021年6月4日（金）15：00～、日本工業倶楽部〕

当工業会の第52回定時総会及び第166回理事会（総会后）がウェブ会議併用で開催されました。定時総会、理事会へはご来賓として経済産業省産業機械課 横山博之課長補佐殿、岡田 淳係長殿にご臨席いただき、すべての議案が審議、報告されました。



内梨 会長

#### <第52回定時総会>

<理事>

(敬称略)

	氏 名	会 社 名
1	内 梨 晋 介	JUKI株式会社 (新任)
2	久 野 光 康	ブラザー工業株式会社
3	齋 藤 真	蛇の目ミシン工業株式会社 (新任)
4	美 馬 成 望	ペガサスミシン製造株式会社
5	近 藤 章 吾	ヤマトミシン製造株式会社
6	兒 島 成 俊	株式会社TISM (新任)
7	廣 瀬 恭 子	株式会社広瀬製作所
8	湯 原 孝 志	一般社団法人日本縫製機械工業会
9	増 島 良 介	オルガン針株式会社
10	佐 藤 銀治郎	株式会社佐文工業所
11	鈴 木 敬 造	株式会社鈴木精密工業所
12	渡 辺 豊	株式会社 TOWA JAPAN
13	直 本 行 雄	直本工業株式会社
14	錦 織 隆	株式会社日進製作所
15	大 塚 雅 之	株式会社ハシマ
16	原 田 啓太郎	株式会社ハッピージャパン

<監事>

(敬称略)

1	木 下 治 彦	木下精密工業株式会社
2	山 根 一 久	東日本金網工業協会 (新任)

**議題1.～議題4.** 2020年度事業報告・決算報告、2021年度事業計画・収支予算は原案どおり議決されました。

**議題5.** 任期満了に伴う役員を選任については原案どおり議決されました。新役員は左表のとおり。

**議題6.** JIAM展について

**議題7.** 共通基盤ネットワーク研究会について

**議題8.** 今後のスケジュールについて

上記の3議題について報告が行われました。今後の主要な行事等は以下のとおりです。

注) 今後の新型コロナウイルス感染症の状況により見直す場合があります。



会議・行事名等	日時・時間・場所	議題・概要他
正副会長会議	2021年10月8日(金) 12:00～13:45 ホテルグランヴィア大阪	①第167回理事会の審議・報告事項 他
第167回理事会	2021年10月8日(金) 14:00～15:30 ホテルグランヴィア大阪	①2021年度上期の事業概要 ②2021年度下期の事業 ③JIAM展について 他
講演会	2021年10月8日(金) 16:00～17:00 ホテルグランヴィア大阪	講演等
正副会長会議	2022年1月17日(月) 11:30～13:00 日本工業倶楽部	①2021年度予算執行状況 ②2022年度予算について ③JIAM展について 他
2022年新年賀詞交歓会	2022年1月17日(月) 13:30～15:00 日本工業倶楽部	新年賀詞交歓会

(注) 2022年度の第53回定時総会は以下の通り予定します。

日時:2022年6月3日(金) 午後 場所:日本工業倶楽部(東京都千代田区丸の内)

### <第166回理事会>

<会長、副会長、専務理事> (敬称略)

役職名	氏名	会社名
会長・代表理事	内 梨 晋 介	JUKI株式会社 (新任)
副 会 長	久 野 光 康	ブラザー工業株式会社
副 会 長	齋 藤 真	蛇の目ミシン工業株式会社(新任)
副 会 長	美 馬 成 望	ペガサスミシン製造株式会社
副 会 長	近 藤 章 吾	ヤマトミシン製造株式会社
副 会 長	兒 島 成 俊	株式会社TISM (新任)
副 会 長	廣 瀬 恭 子	株式会社広瀬製作所
業務執行理事・ 専務理事	湯 原 孝 志	一般社団法人日本縫製機械工業会

#### 議題1. 会長、副会長等の選定について

会長、副会長等の選定は左表のとおり議決されました。眞壁前会長並びに清原前副会長は顧問に就任しました。

<顧問> (敬称略)

役職名	氏名	会社名
名 誉 顧 問	山 岡 建 夫	JUKI株式会社
名 誉 顧 問	安 井 義 博	ブラザー工業株式会社
顧 問	眞 壁 八 郎	蛇の目ミシン工業株式会社
顧 問	清 原 晃	JUKI株式会社

※本年度は部会・委員会及びWGの任期満了に伴う委員改選が行われ、新たな体制で活動することとなりました。  
新委員の方はよろしくお願いたします。



## 新旧会長ご挨拶

〔2021年6月4日(金) 17:00～、日本工業倶楽部〕

第166回理事会終了後、別会場において新旧会長のご挨拶が行われ、報道関係数社の取材がありました。挨拶の概要は以下のとおりです。

### <内梨新会長のご挨拶>

はじめに、デジタル技術、ネットワーク環境の進展による急激な技術革新が進む中、また、新型コロナウイルス感染症拡大により世界中がパンデミックに陥る中、5年間にわたり工業会会長として、ご尽力いただいた眞壁前会長に感謝とお礼を申し上げます。

本年の世界経済は中国に続き、米国経済の回復がみられ、1月から3月期の世界の企業業績を見ると一昨年(2019年)の同時期水準を上回る業種もみられ、回復基調にあると思われる。我が国経済はコロナ禍の影響により、冷え込んだ景気がここに来て改善されてきたところだが、先行きは、本年4月からの東京、大阪などの緊急事態宣言が再々延長されたことに伴う景気の停滞が懸念されている。ワクチン接種が進み、経済活動の改善が望まれる。当業界の関連業界であるアパレル・ファッション産業の停滞・縮小が顕著になっており、SDGs(持続可能な開発目標)の流れの中で、大量生産大量廃棄から多品種少量生産へと移り、これまで以上に、我が国の高品質・高付加価値のもの作りの技術力が求められている。一方、家庭用ミシンは昨年から続く「巣ごもり需要」によるマスク、エコバッグの作成など、家庭内でのミシン需要が高まっており、この流れを継続して発展させていくことが重要である。

このような中、当工業会の今後の取り組みとして、一つ目は「展示会事業」のJIAM展である。コロナ禍の影響によりJIAM2022として、会期を2022年11月30日(水)から12月3日(土)までに延期して、インテックス大阪で開催することとなり、テーマは「JIAMからつながる...～次世代技術と匠の技のコラボレーション～」と変更した。

二つ目は「家庭用ミシンを使ったソーイング普及事業」で、次世代を担う若い世代に、家庭用ミシンを使って創造性豊かな作品を作る機会を提供して、「モノづくりの喜び」、「ソーイングの楽しさ」を体験していただけるように取り組むこととする。「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」はその中核となる事業で、これまで41回のコンクールを実施してきたが、本年度も既に小学校、中学校、高等学校への募集を開始しており、本年は学校教育におけるミシン普及策について企画、実施する予定である。また、「3月4日はミシンの日」、「1月～3月はミシンの月」を広く周知させるため情報発信していくこととする。

三つ目は「デジタル技術・ネットワーク環境への対応」で、コロナ禍の中、アパレル・ファッション産業は、百貨店、大規模商業施設などの販売店舗が縮小する一方、ネット・通信販売は堅調であり、従来の大量生産方式から少量多品種生産方式、生産リードタイムの短縮・同期化等への移行が求められている。また、品目別では、コート、スーツ、ワンピースなどが縮小する一方、ニットやルームウェアなどカジュアル分野は堅調で、縫製工場を取り巻く状況は激変しており、このような状況下で、2018年から実施している「共通基盤ネットワーク研究会」を本年も継続し、会員、関係者による縫製業界共通の技術・課題に関して検討していく所存である。

四つ目は、「知的財産権の保護」に関するもので、アジア地域での模倣製品による会員企業の被害は依然として多く、政府及び関係団

体からの協力、中国縫製機械協会の協力も得ながら本問題に対する取り組みを着実に進めてまいりたいと思っている。

最後になるが、当工業会を取り巻く環境は大きく、かつ急激に変化しており、技術革新や制度改革の動きを迅速に捉え、対応していく所存である。このためにも会員企業間のコミュニケーションの充実、政府、関係諸団体との連携により、工業会の着実な運営、発展に微力ながら努力したいと思っている。

### <眞壁前会長のご挨拶>

工業会においては、理事12年間、その内副会長を7年、会長を5年努めてきて、会長在任中のご支援、ご協力に感謝申し上げます。工業会の様々な事業を推進させてきて3点について述べさせていただきます。

1点目は、昨年5月開催予定のJIAM2020がコロナ感染症拡大により2022年に延期されたことである。JIAM展開催が日本の縫製機械の世界市場への起爆剤となることを期待していたので、大変残念に思っている。また、工業会の財政面からもJIAM展の延期により多大なる影響を受けることになり、その改善に向けた議論を正副会長と多くの時間を割いて議論させていただき、2022年の後のJIAM展を2024年に開催することとした。新たな工業会の体制の下、JIAM2022、そしてJIAM2024の成功と工業会財政の健全化を願っている。

2点目は、ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて、昨年の第40回はコロナ感染症拡大により表彰式中止せざるをえなかった。今年はオンラインでの実施とはいえ、表彰式を行えたことは関係者の尽力のお陰と思っている。しかし、近年作品点数、応募校数が減少しており、新会長を中心に今後の作品コンクールの更なる発展を期待している。

3点目は、共通基盤ネットワーク研究会について、2018年度から、縫製品製造における縫製機械業界のデータ活用には様々な課題があることを受け、まずは縫製仕様書の統一や縫製品製造における用語の標準化に向けて取り組み、布帛(ふはく)中心に共通用語を取りまとめを行った。今年度も継続して、デジタル技術、ネットワーク技術への対応に向け業界一丸となって取り組んでほしいと思っている。

会長在任中に各種事業をつつがなく実施させることができたのは、来賓の皆様、関係各位、会員企業の皆様方のご支援、ご協力があったからとっており、皆様方からの工業会に対する更なるご支援、ご協力をお願いしたい。



## 第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集中

全国の小・中・高校生を対象とした「第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品を募集しています。詳細については当工業会ホームページをご覧ください。

### 1.応募部門:

- (1)小学生の部(4・5・6年生)  
部門は特に設けていません。中学生、高校生の全ての作品部門を含みます。
- (2)中学生の部
  - ① 小物・インテリア作品部門
  - ② 衣服作品部門
  - ③ リメイク・デコ作品部門
  - ④ アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門
- (3)高校生の部
  - ① 小物・インテリア作品部門
  - ② 衣服作品部門
  - ③ リメイク・デコ作品部門
  - ④ アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

2.応募作品、応募方法他については、当工業会ホームページ(<https://jasma.or.jp>)をご覧ください。なお、高校生の応募は、写真による選考を行ないますのでご注意ください。

3.締 切:2021年10月29日(金)

4.応募先・お問い合わせ先:一般社団法人日本縫製機械工業会「第42回作品コンクール」係

TEL.03-6435-8190 FAX.03-6435-8192

Eメール: [info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp) URL: <https://jasma.or.jp>

### 今後の家庭用ミシン事業の行事予定

(1)経済産業省子どもデー(オンライン参加)

日時:8月18日(水)~19日(木)

(2)「全国家庭科教育協会(ZKK)」主催 夏期研修会

日時:8月20日(金)10:30~16:30

場所:家庭クラブ会館 大ホール(東京都渋谷区代々木)

※本研修会は全国家庭科教育協会が主催し当工業会は共催します。

詳細は下記の同協会ホームページの令和3年度夏期研修会をご覧ください。

URL:<http://zenkokukateika-zkk.org>

## お知らせ

### ● 経済産業省 製造産業局 産業機械課の異動

産業機械課の当工業会担当官の人事異動がありました。(敬称略)

(新)

(旧)

7月1日付

安田 篤 製造産業局 産業機械課 課長  
(やすだ あつし)

玉井 優子 通商政策局通商機構部参事官

新エネルギー・産業技術総合開発機構  
IoT推進部長

製造産業局 産業機械課 課長

5月1日付

横山 博之 製造産業局 産業機械課 課長補佐  
(よこやま ひろゆき)

安田 正一 貿易経済協力局 貿易管理部 貿易審査課  
農水産室 補佐

製造産業局 国際プラント・インフラシステム  
水ビジネス推進室 補佐

製造産業局 産業機械課 課長補佐

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症影響は、変異型もありまだまだ予断許さぬ状況ですが、ワクチンの職域接種も始まり少しずつではありますが経済活性化に向けて進んできています。また、工業会も新会長就任や各WGメンバーの改選など新たな体制がスタートいたします。2022年のJIAM展や将来の縫製業界の活性化に向けて皆様と協力し、邁進していきましょう。

(S.A)

## JASMA 会報

Vol.18 No.2 2021年7月15日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会  
発行責任者:湯原 孝志

〒105-0004

東京都港区新橋5-25-3 第二一松ビル2階  
TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

Eメール [info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp)

URL <https://jasma.or.jp>

本JASMA会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。